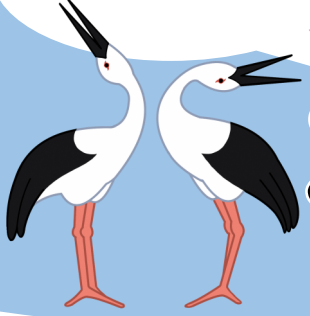


コウノトリ



毎週月曜日更新

カタカタ通信

第152号

「コウノトリのしぐさ ②」

2024年11月25日

第149回に続き、今回もコウノトリのしぐさのお話をしていきます。今回のテーマは“水の飲み方”です。あの長いクチバシでいったいどのように水を飲んでいるのかに注目していきます！



そもそも、鳥たちは食べているエサから水分を摂取しています。そして、不足する分は水を飲んで補給します。この水の飲み方には大きく3パターンあるんだそうです。

まず1つ目は“流し込み式”です。クチバシを水につけて、水をふくみ、上を向いて喉に流し込む方法です。ほとんどの鳥はこの飲み方をします。

2つ目は“吸いあげ式”です。この方法は、水面にクチバシをつけてそのままゴクゴクと吸い上げて飲む方法です。この方法で水を飲む鳥は少ないようですが、ハト類がこの方法で水を飲むため観察はしやすいそうです。

3つ目は“飛びながら”です。ツバメやアマツバメなど飛びながら水面に口をつけて水を飲む鳥もいるそうです。

さて、本題のコウノトリはどのように水を飲むのかというと、あの長いクチバシで水を吸いあげる……のではなく、スーッと“流し込み”ます！ ちょっとこぼしながら飲み込むので、実際はどれくらいの量を飲んでいるのか、いつも気になっています。



コウノトリの水の飲み方

参考：鳥のしぐさ・行動よみとき図鑑

飼育担当：佐藤 天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター